

R 8 生活の心得

能代南中学校 生徒会
生徒指導部

生活の心得は、安心・安全の中でよりよい集団生活を送ることができるように、自分たちで自分たちを律していくためのものである。この趣旨から生徒全員の意見を聞き、生徒代表と教員が協議し、次の内容について決定した。

1 服装・頭髪等

判断基準 華美、高価、ルーズを避け、清潔で、集団の中で調和するようにする。

【※この判断基準を基に考え、判断していく。】

(1) 制服

標準学生服（マーク入り）、または本校の指定制服を着用し、変形しない。

① 標準学生服着用の場合

- ・名札、ボタンをつける。
- ・ソックスは白、黒、紺、グレーの単色とし、くるぶしが隠れる長さとする。（ワンポイント可）

② 本校の指定制服を着用する場合

- ・名札をつける。
- ・指定のスカートまたはスラックスを着用する。スカートの丈は、膝頭が隠れる程度の長さを目安とする。
- ・スカートの場合、タイツ（ストッキング）は黒。素足のときのソックスは白、黒、紺、グレーの単色とし、くるぶしが隠れる長さとする。（ワンポイント可）

(2) 上履き、通学靴

- ・通学靴は白、黒、紺、グレー、茶色を基調とした靴で、外での保健体育でも使用できるものとする。
- ・上履きは指定のものとする。（※かかとに記名する。）
- ・雨天時及び冬期間は長靴、ブーツ、スノトレでもよいが、安全性が確保できるものとする。

(3) 夏服

- ・夏は白のワイシャツ（長袖、半袖）とする。
- ・ワイシャツの下は、ワイシャツから透けない色のシャツ、Tシャツを着用する。（無地のもの。Tシャツは、ワンポイントまで可）

※気温が高いときはクールビズ登校を認める。〔風Tシャツ、体育着ハーフパンツ〕

(4) 防寒着

- ・通学用のコート、ジャンパー類は派手でないものを着用する。（部活動用のウインドブレーカーは可）
- ・学生服、指定制服の下に白、黒、グレー、紺のベスト、セーター等を着用してもよい。

(5) カバン、バック

- ・カバンは学習用具が入る十分な容量を確保できるリュック型とし、安全のために反射シール（反射テープ）をつける。
- ・カバン、バッグ、筆入れにキーホルダー等を付ける場合は、目印として一つまでとする。（登下校や整頓する際に不都合のないもの）

(6) 頭髪

- ・集団の調和にふさわしくない髪型、学習や運動の妨げとなる髪型を避ける。
- ・着色、脱色、パーマメント等を避けるとともに、ワックス類、装飾品は使用、着用しない。
- ・前髪は目にかからないようにする。ヘアピンを使用する場合は、黒、紺、茶色とする。
- ・長髪は、ヘアゴム（黒、紺、茶色）で結ぶ。
- ・くしの使用は、トイレと更衣室のみとする。

2 交通安全

(1) 自転車

- ・自転車は、荷物を背負いながらも安全に登下校できるものとする。（カマキリタイプのハンドル、マウンテンバイク、競技用自転車等を避ける。）
- ・点検・整備・防犯登録し、加工、変形をしない。指定のステッカーを貼ること。
- ・自転車を離れる場合は、施錠すること。
- ・天候や路面状況を考え、安全を第一として自転車通学が可能かを判断すること。

(2) ヘルメット

- ・自転車用ヘルメット（SGマーク付き）を着用する。加工、変形しない。

3 校内生活

- ・8時05分に着席しているように登校する。
- ・欠席、遅刻などは、事前に保護者から学校に電話等で連絡する。
- ・水分補給用に水筒に入れてもってこれる飲み物は、水、お茶、スポーツドリンクとする。
- ・制汗スプレー・シート、ハンドクリーム等を使用する際は、無香料のものとする。
- ・学習不要物は学校に持ってこない。携帯電話等必要のないものを持ってきた場合には、指導の上、保護者に直接返却する。

※自転車、ズック、傘の置き方、雨具かけの使い方等、細かなきまりごとについては別に生徒に説明する。

4 校外生活

【校外生活については、最終的に家庭の責任による判断となる。非行行為やトラブル防止のために、正しい判断をしながら行動すること。】

※次の2点については、能代市生徒指導協議会の共通確認事項であるため、遵守する。

◇友人宅に外泊しない。

◇カラオケ、ゲームコーナーには、責任のとれる大人と一緒にいく。

※事故や不審者に遭った時は、休日であっても直ちに学校または緊急連絡用電話に連絡する。

5 その他

- 改正や合意が必要な場合は、生徒会代表と先生が協議し、最終的に校長が判断する。
- 個別の理由で例外を認めてほしい場合は、本人または保護者が申し出る。

☆「自分たちで自分たちを律していく」ということを胸に、よりよい学校を創っていきましょう。